



ICTを活用した被災状況調査を実施しました

8月3日からの大雨に伴い、管内の緊急的な調査を実施しました。
今回の調査では最新のICTを用い、安全かつ効率的に調査を実施しました。

①砂防GISタブレットによる調査箇所案内



国総研による調査状況



砂防GISタブレット画面

タブレットに格納された溪流情報や施設台帳を確認することにより、土地勘の無い人でもスムーズに調査箇所に到達

②UAVによる被災状況確認



UAV操作状況



UAV映像

到達困難な溪流をUAVにより、安全かつ効率的に確認

③UAV映像のリアルタイム配信



映像配信状況



映像確認状況

UAVの映像を災害本部にリアルタイム配信することにより、被災状況をいち早く共有